

まちづくりの柱5. 環境



中畑公園遊具完成



花いっぱい運動

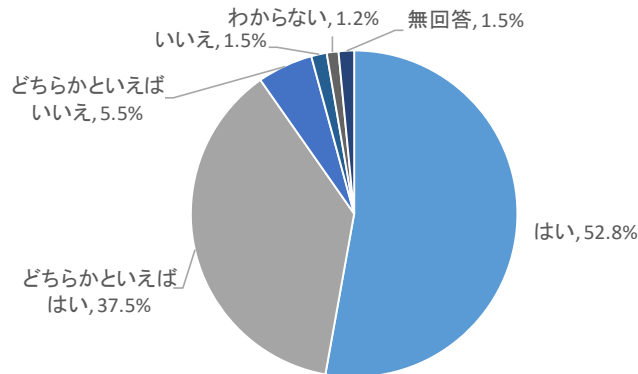


全町クリーン作戦

※掲載されている写真については、変更となる可能性があります。

No.18 ゴミ問題など環境に配慮した生活を心がけていますか
 <1つに○印>

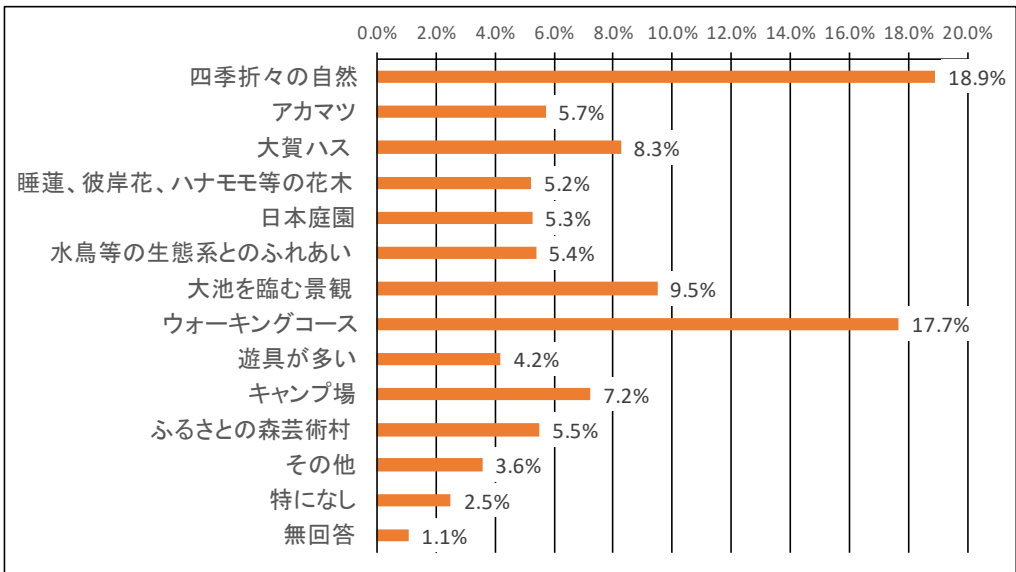
1. はい 2. どちらかといえば はい 3. どちらかといえば いいえ 4. いいえ 5. わからない



問1. 矢吹町の大池公園についてお伺いします。

① どのようなものに矢吹町大池公園の魅力を感じますか
 <あてはまるもの3つに○印>

1. 四季折々の自然	2. アカマツ	3. 大賀ハス
4. 睡蓮、彼岸花、ハナモモ等の花	5. 日本庭園	6. 水鳥等の生態系とのふれあい
7. 大池を臨む景観	8. ウォーキングコース	9. 遊具が多い
10. キャンプ場	11. ふるさとの森芸術村	12. その他



「四季折々の自然」が18.9%で最も多く、次いで「ウォーキングコース」が17.7%、「大池を臨む景観」が9.5%で多くなっている。

住民アンケートやワークショップ等のご意見

- 各地の公園を充実させ、地域住民の外出を促し、自然と人がつながって言葉を交わすことにより住みやすい環境になると思います。(世代を問わず触れあえる場所)
- 自然のある落ち着いたまちにしてほしいです。
- 大池公園にカフェやレストラン、ドッグラン等を整備してほしいです。
- ごみの分別をきちんとして、きれいなまちにしてほしいです。
- 地域のごみ集積所の情報発信をきちんとしてほしいです。

5-1 自然に親しむ空間づくりの推進



5-1-1 自然に親しむ空間整備の推進

現況	課題
<p>1 フラワーロード</p> <ul style="list-style-type: none">●花苗の提供や必要物資の準備等に時間を要することから、今後の実施方法について検討する必要があります。 <p>2 公園</p> <ul style="list-style-type: none">●公園利用者の安全・安心な公園利用を図るため、矢吹町公園施設長寿命化計画に基づいた施設の更新、並びに新たな公園の整備を行っています。●令和5年度より、指定管理者制度から業務委託による維持管理を行っています。●三十三観音史跡公園等の里山について、ホームページによる魅力発信を定期的に行っています。 <p>3 自然環境保全</p> <ul style="list-style-type: none">●国は2050年の二酸化炭素実質排出ゼロを目標にしており、本町においても、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、町全体で取組みを推進します。また、再生可能エネルギー、新エネルギー導入を積極的に推進し、補助金等を通じて、広く普及を図っています。	<p>協働のまちづくりの視点から重要な施策であることから、継続すべき事業であるため、今後、実施方法等の見直しを検討する必要があります。</p> <p>各公園において更新が必要となる施設数の均衡に偏りが生じ、更新時に地域間で偏る可能性があります。また、公園の少ない新興住宅地の住民より、新たな公園の整備、遊具の設置が求められています。</p> <p>委託先である行政区において、人員不足等の課題が生じており、作業方法の見直しなど、委託する内容について再検討する必要があります。</p> <p>地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定後に、取組みの推進を図っていくうえで、住民や事業者の関心をいかに高めるか、どれだけ巻き込めるかが大きな課題です。また、専門的知識や技術を持つ人材が不足しています。</p>

4年後の
目指す姿

都市公園面積の増加とともに、公園利用者数を増加させます。
2030年二酸化炭素排出量50%減（2013年比）を目指します。

対策・取組

1 フラワーロード花いっぱい事業

●事業の外部委託を検討しながら、継続実施します。

2 公園整備事業

●矢吹町公園施設長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら、施設の優先順位を加味した計画的な更新を行います。さらに、整備が求められている公園や遊具の設置について検討を進めます。

3 公園管理事業

●業務委託による維持管理の中で生じた課題等について聞き取りを行い、対応策の協議を行いながら適切な維持管理を行います。

4 自然環境保全事業

●脱炭素化の取組みについて、「矢吹町地球温暖化対策実行計画」に基づき、矢吹町域から排出される温室効果ガス排出量の削減に向け、町・町民・企業等が一体となって取組みが計画的に推進できるように啓発活動等を実施します。

●広報・ホームページ・公式LINE等により、省エネ化、再エネ導入、エコ活動やごみの減量化及び資源化等について広く周知し、取組む内容とメリットを示しながら普及を行い、現状の補助事業のほか町民や事業者に向けた支援策について幅広く検討し、推進を図っていきます。

目標指標	現状値（令和4年度）	目標値（令和9年度）
町民一人あたりの都市公園面積	14.2 m ²	14.7 m ²
大池公園の利用者数	84,280人	90,000人
フラワーロード花いっぱい事業参加団体数	20団体	25団体
二酸化炭素排出量	151千t-CO ₂	85.7千t-CO ₂

デジタル化
の取組

- ・町ホームページで取組みについて情報発信
- ・集計した排出量についても公表
- ・環境アプリなどの導入の検討

5-2 循環型社会の構築

5-2-1 資源循環の推進



現況

1 ごみ減量化

- ごみの減量化については、「矢吹町ごみ減量化推進計画」に基づき、町だけではなく、町民、企業、各種団体が一体となって、ごみ減量化及び資源化の意識を持てるような啓発を行っています。

2 環境衛生美化

- ごみゼロの町を築くため、町民、行政区、企業や各種団体と協力体制を構築し、全町クリーン作戦やポイ捨て防止運動を行っています。また、ごみ集積所、公共施設及び道路沿線等の不法投棄防止等の対策を行っています。

3 公害

- 法令に基づく各種届出を適正に処理し、騒音、振動、悪臭等に係る指導を継続して行います。

課題

ごみ減量化計画の取組みを推進してきたが、過年度と比較して、近年のごみの排出量は、やや増加し、その後は横ばいが続いています。

道路沿線等のポイ捨てや不法投棄防止対策を行っていますが、効果的な対応策はない状況にあります。また、ごみ集積所においては、ごみの分別がされていない等の相談や苦情が多くなっています。

今後も法令に基づく各種届出を適正に処理し、騒音、振動、悪臭等に係る指導を継続し、生活環境の保全に努めていく必要があります。

4年後の
目指す姿

ごみ減量化及び資源化の推進と循環型のまちづくりを推進します。

対策・取組

1 ごみ減量化推進事業

●現在の「矢吹町ごみ減量化推進計画(第2期)」は、令和3年度から令和6年度までの4年間で計画期間となっており、計画に基づいて、町民・事業者等がごみ減量化や資源化の意識を高めるように、町で行っている事業等について広報・ホームページ・公式LINE等により、啓発に努めます。

また、次期(第3期)計画についても、これまでの実績等を分析し、実効性のある計画に見直します。

2 環境衛生美化推進事業

●道路沿線等のポイ捨てや不法投棄やごみ集積所での分別等については、現在は、主に看板設置により対応していますが、今後は、広報・ホームページ・公式LINE等にごみゼロの記事を掲載し周知徹底を図ります。また、ゴミのポイ捨てや不法投棄が改善されない場所については、監視カメラの設置について検討します。

3 公害対策事業

●環境公害関係法令に基づく各種届出を適正に処理し、町内にある事業者等へ、騒音、振動、悪臭等に係る指導を継続して行い、町民が安全安心に生活できる環境の保全に努めます。

目標指標	現状値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
ごみ排出量削減	0%	5%
ごみの資源化	12.2%	15%

デジタル化
の取組

・ごみ排出量、資源物回収量等のデータ管理の検討